

夕刊 警城時報

行 發 日 四
印刷所 警城時報社
印刷 所 警 城 時 報 社
一部 金 貳 銭 一 月 金 貳 銭
廣告 料 一 行 十 四 字 五 十 銭
日 刊 (日 曜 祝 祭 日) 送 日 休 刊

正に一粒千両の價

けさの雨に農家はホツト一息

稀有の旱天に地方の農家がひと十ミリ(一斗八升)を越え、この利益を得たので去月三十日、天を仰いで嘆息してゐると、今日も立枯れにならうと、町内出征兵に慰問袋を送つた。昨夜十時半ごろから降り出た雨は、作物には潤き、生じた雨はけさ十時までに六、三、九、然し全く乾き切つて龜裂をミリ(一斗一升五合)に達し、生ずるほどになつてゐた水田に、農家は慈みの雨來るとばかり、漸く未だ未だ足りず農民はもう少く愁眉を閉いたが、けさ十時頃、如作物では白菜、葉巻大根、から再び降り出した雨は最近一ヶ月にその比を見ないほどの時化氣味の大降りとなり、一時はかと思はれる烈しさであつた、十一時半すぎになつて止んだが、この間わつか一時間半の雨量は

本紙の慰問號に

早くも勇士から禮状

本社が去る二日附で市内出身將兵慰問號第二輯を發行、現役ならびに在滿支の將兵諸君に發送したところ、四日朝左記兩氏から早くも禮状があつた

本日貴紙及び將兵慰問號第二輯送附被下有難拜見仕候後、報道の御辛苦に對し厚禮申上候
下平窪田出身、鶴岡 部隊隊長 鈴木寛一
桑中御伺ひ申上候、茶室之候、皆々様社員の方には益々御清榮の事と存じ候、此の度は誠に結構なる候かしき故郷のニュースをお送り下され誠に難く御禮申上候、小生も入營



福美

酒 賣 優 績 連 國 全
釀 造 店 當 家 四 郷 内

草野四段

鍊士號を受く

大野村山、石原幸館主草野又藏氏は地方に於ける柔道の達人として知られてゐるが、今回武蔵殿から四段轉進を授けられた。また同町下町組組長會員藤小石さん外二十五名は三十一日四倉署管内で四段鍊士號を授けられたのは草野氏が始めてであつた。

撰炭婦の群に入り

アセの結晶を献金

内郷村大字白字川平高階炭礦婦田岩雄君の英愛は四日午前九時、業長服部藤雄氏夫人ともさん時植田驛着列車で無言の凱旋し、半年前から同礦炭場で撰炭婦となつて石炭に塗れて、毎月の汗の結晶をその程度國防費として来たが、彼女が女中學校の三女致して勤務につき居り候へば、御安心下され度、今度とも何分共に終後のこと、平手發炭婦となりかよは、い手と黒に、御願ひ候、先は御禮まで
正月 久野 昌男

機關士講習會

武藤初段優勝

縣水産會主催の小型發動機講習會、機關士講習會は一日から二十四日まで水産試験場で開催中であるが、講師は東京漁船員養成所宮城技手、受講者二十七名
植田國婦活動
植田町國婦人會では去る五月初旬吹雪會を開催し三百七十回

英靈凱旋

中支戦線で戦死した石住村出身歩兵隊長鈴木七郎君ならびにソ満國境で戦死した田村村出身歩兵上等兵士藤野の約中間にある、北京、天津の約中間にある、期坊驛より一里位の地点は今尚敵が居ると云ふ、驛の警備は殊の外厳重に見受けられ、事變當初此驛内に激戦があつたと云ふ、驛内に四勇士戦死の所の標木がある、歐

常磐線荒し箱師か

湯本町で不審男捕はる

三日午前三時ごろ湯本町地内を、は夏期休暇中の後奉仕として徘徊中、不審の男を平野池内から獲り、箱師か、野部長刑事、笠原、野地刑事等がた三回を二日植田署を通じ陸軍検査取調へると去る一日朝岩手縣廳土木課柳原技師が常磐線野、助川間で盗まれた洋服を所持してゐた、飯野村上荒川生れ、前科四犯草野伊三郎(五六)で青森一上野間の常磐線列車を荒し、藏氏に地方に於ける柔道の達人として知られてゐるが、今回武蔵殿から四段轉進を授けられた。また同町下町組組長會員藤小石さん外二十五名は三十一日四倉署管内で四段鍊士號を授けられたのは草野氏が始めてであつた。

大宮部長轉任

江名二勇士町葬

平野情報部長大宮吉吉氏は、今野、助川間で盗まれた洋服を所持してゐた、飯野村上荒川生れ、前科四犯草野伊三郎(五六)で青森一上野間の常磐線列車を荒し、藏氏に地方に於ける柔道の達人として知られてゐるが、今回武蔵殿から四段轉進を授けられた。また同町下町組組長會員藤小石さん外二十五名は三十一日四倉署管内で四段鍊士號を授けられたのは草野氏が始めてであつた。

座談會剩餘

工業組合

トモホー工業者で、鑛山用機械製造工業組合を組織する座談會、去月三十日、野村地内常磐線鐵橋下で、結核を患つた青年、近親者の首實驗の結果、炭酸、精神を引取つて、二十九日夜、家出し、河原中のものであつた

坑夫連の賭博

ワクチン頒布

内郷村白水神奈川炭礦坑夫片山太郎(四七)島田長藏(四七)藤田文彌(四七)奥澤達(四六)藤澤源太郎(四〇)阿部一(二二)の六名は、二月から七月までの内片山島田方で常習的に賭博を開張してゐたこと發覺、五日平野に檢取された

世界環視の天津

満支視察の旅... 34
七月十四日
午前八時北京驛着、六國飯店で退平君夫婦と中食を共にし、午後五時天津に向ふ。退平君が天津まで見送つて呉れた、此度の旅行はまるで遠送驛旅行の様だ、それと心強

平市人事録

出生 大室宇白土當時安達那本宮町松崎武勇さん長女隆子さん、杉平渡邊啓さん二男
結婚 大室宇白土松崎榮一さん(二九)と内郷村宮澤齋藤龍子さん(二四)
死亡 下平窪宇田田明智八重次郎さん(六八)室の前一六會澤秀雄君(七)才道小路二〇水野忠夫氏(三六)才道小路當時湯本町向田富澤正さん(五二)上平窪宇真似井根本ヒサさん(七三)

天氣豫報

今晩は北東の風曇驟雨、明日は雨の風曇

胃腸障害と消化整腸に

驚く卓効!

世に先んじ健康報國を提唱し來つた星製菓が、今健康報國製菓業ホシチヤコール錠の普及を期することになり、錠は胃腸を健切する、全に保つ胃腸製であり、胃腸障害を起す毒物を消滅する有名薬として既に定評があります。

健康報國

ホシチヤコール錠を是非慰問袋に入れて下さい
急性慢性胃腸カタル及び腸内異常酸敗による下痢、腹痛、食あたり、胃弱、嘔氣、腹脹、宿便、痔瘡、ホシチヤコール錠



野澤武藏

縣議選舉の展望……(三)

野崎、關内兩氏の關係

平市部は、選挙區獨立最初の縣議選舉で定員一名に對し民政野崎派、政友關内正一兩派議員の候補は確定的である。

政治團體が、政友關内派、同進派、民政比佐派、同野崎派と頗るデリケートな關係にあり、野崎派過般の協議會に於て、統帥野崎氏が「郡部に於て擁立する候補者を倒して、郡部の議員が全力を傾倒して、當選を期すれば吾黨平市部の勝利は確定的である」と極めて意味深長なことを力説してゐた。

野崎派の市會に於ける提議も、黨としての立場から表面的な應援を差控へるものと見られ、何人か平澤から立候補せしむる説もデマに過ぎないであらう。

新文具御案内

書方自習用白塗板
定價 四拾錢

筆勢がよくわかり描け、二、立て、書いても墨が垂れませんが、紙の大節約になり、これ一枚あればどんな習字練習書方の下手な人でも見る上達致します。

公休日割變更

一、第一組(毎月第二水曜日)
二、第二組(毎月第二木曜日)
右の通相定め即日實行致します。
その都度「公休」の札を掲げます。
八月三日

平料理屋組合 平藝妓屋組合

紳士の街に出よう
カンカン帽子
バナマ帽子
パーセント
アツパツパ
ツルヤ
電一四〇

決算公告

資産(借方)	金額
現金預金	三〇、三三、〇〇
有價証券	一七、九八、〇〇
貸付金	六、〇〇
未收掛金	三三、〇〇
未收無盡掛金	二六、八八、〇〇
不動産	一、〇〇〇、〇〇
營業用地	一、六六五、〇〇
營業用家屋	九、八五三、〇〇
營業用什器	四、三三〇、〇〇
拂込未済資本	七五、〇〇〇、〇〇
合計	一、五七九、〇〇〇、〇〇

負債(貸方)	金額
未拂無盡掛付金	二六、〇〇〇、〇〇
未拂入札差金	四〇、〇〇〇、〇〇
未拂解約返戻金	九、八七三、〇〇
未給付資金	三九、三三〇、〇〇
無盡給付資金	三、四二八、〇〇
日掛受金	一、七三三、〇〇
加入掛込證據金	二、七〇〇、〇〇
加入掛込證據金	三、〇〇〇、〇〇
社員保證積立金	三、〇〇〇、〇〇
資本	一〇〇、〇〇〇、〇〇
法定準備金	四、〇〇〇、〇〇
特別準備金	二、〇〇〇、〇〇
建築積立金	五、〇〇〇、〇〇
社員退職給與基金	三、九一七、〇〇
當期利益	一、二五七、〇〇
當期利益金處分	一、二五七、〇〇
左ノ如シ	
法定準備金	金壹千圓也
特別準備金	金壹千圓也
社員退職給與基金	金五百圓也
役員賞與金	金二百五十圓也
配當金(年四分ノ制)	金五百圓也
後期繰越金	金七百拾九圓
貳拾九錢也	
當期給付金契約高	九〇三、二二〇圓

磐城無盡株式會社
専務取締役 小宅嘉久治
常務取締役 野内彌富
常務取締役 豊田豊治
常務取締役 渡邊幸太郎
監査役 有賀幸太郎
取締役 全員任期満了の處再選任す

太鼓 各種

神社佛閣用太鼓
武徳道場用太鼓
歡迎迎用音樂隊樂器(タナペ製品)
……カタクゴ進呈……
平市六町目
佐藤太鼓樂器店
電話四八三

油と味噌 吉屋

平市古鍛冶町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

耳鼻咽喉科

レントゲン科
醫學博士 高柳博明
平市驛前(電話三三六)

最新流行の 下駄と草履

トコロモ安い 三井履物店
平南町 電話一八一番

平病院

今般 醫學士土井利明氏ヲ副院長トシテ招聘シ
内科、小兒科ノ診療ニ從事セシム
元共濟病院跡 電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長 鈴木定藏
小兒科 副院長 土井利明
皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
一般外科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

耳鼻咽喉科

入院自炊の便あり
大和田醫院
平市南町(電話一〇七番)

高久病院

平市田町(電話五二三番)
院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄
内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科

性病科

午前 宅診
午後 往診
四倉町本町
菅波醫院
電話六三番